

広報させば 情報カレンダー 06. 8月



日	月	火	水	木	金	土
		1	2 中小企業金融公庫出張相談	3	4 夏休みアートに挑戦 ~6日 ごみ処理見学ツアー	5 シーサイドフェスティバル~6日、古代技術体験、金比良・赤崎地区お茶の間トーク
6 広島原爆の日 夏休みの自由研究教室 夏に楽しむハーブティー講習会	7	8 させば海洋スクール ~12日	9 長崎原爆の日	10 夏休み郷土学習教室 ~11日 九十九島キッズクラブ ~11日	11 発明相談	12 動物舎探検隊 (26日、9月9日)
13 九十九島夏祭り ~14日	14 長峰勇展 ~9月10日 Uターン・大学等新卒者合同企業面談会	15 精霊流し	16 市総合病院の健康教室	17 スターウォッチング	18 出前保育「みんなよっといでー」 (25日、9月6日)	19 宮地区お茶の間トーク
20 道の日探検バスツアー 動物のウンチで紙を作ろう	21	22 子育て講演会	23	24 夏休み「おりがみ教室」 人権啓発講演会	25 佐々川サマースクール、夜の水族館体験 (26日) おこづかい楽習ゲーム	26 日宇地区お茶の間トーク させばミルクツーリズム
27 バラの夏期せん定講習会 昆虫・植物・貝・岩石等の名前を調べる鑑定会	28	29	30	31 天体観望会 (8月は毎週土曜) 夏休み「福祉用具体験学習」 (17日~19日・24日~26日) アルカスSASEBO・ホール体験ツアー (18日)		
毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13~15時、佐世保商工会議所)	毎月第2金曜 発明相談 (10時~15時30分、市役所商工労働課)		9月上旬の主な行事予定 9/1 市総合防災訓練 9/2 水を大切にしようの日イベント 9/3 長崎せちばるロードレース大会 生ゴミリサイクル元気野菜作り講習会 9/6 食育講座「子どもの食」			

**救急・火災**  
医療機関案内 ☎0956-23-8199  
火災情報 ☎0180-999-999

**エイズ相談・性感染症相談**  
専用相談電話 ☎0120-104-783  
Eメール shc783@city.sasebo.lg.jp

**教育相談**  
青少年教育センター ☎0956-22-0077  
(毎月第3日曜の13時~16時には、休日教育相談を受け付けています)

**女性相談**  
スピカ ☎0956-24-6180  
(水曜と祝日を除く毎日、9時~16時)

**消費生活相談**  
市消費生活センター ☎0956-22-2591  
(土・日曜、祝日、年末年始を除く毎日、8時30分~17時15分)

**8月の健康テレホン**  
県保険医協会 ☎0956-23-4300  
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます

**月** 夏バテと食事  
**火** 「わきが」の治療  
**水** 子どもの発汗と水分補給  
**木** 鼻や耳にできる「とびひ」  
**金** 注意欠陥多動性障害  
**土・日** 長崎県の性病の実態 (男性編)

人のうごき (7月1日現在)

総人口 256,930人 (-348)  
男 120,829人 (-213)  
女 136,101人 (-135)  
世帯数 100,534世帯 (-159)

6月中のうごき

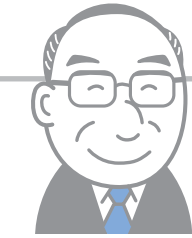
転入 524 転出 815  
出生 167 死亡 224

見て、聞かせば 市政だより

**テレビ** 毎週土曜日放送 (約5分間)  
NBC (9時25分) NIB (11時35分)  
NCC (11時40分) KTN (11時40分)

**ラジオ** NBC 毎週日曜日 9時25分  
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

**長崎新聞** 毎月第2、4水曜日広告欄  
**テレビ佐世保** 第3月~土曜日 18時45分



こんにちは市長です。

家庭の食卓と学校の食育

3年前、雑誌「文芸春秋」で「壊れる食卓」という記事を読み、強いショックを受けたことを覚えています。そこには、「今、家庭の食卓で食べ物の好き嫌いや偏食を改めるようになつてはしなくなった」、「家族が同じおかずを食べることはなくなり、銘々が自分の好きなものを食べることが一般化している」、「これらは特殊な家庭に限らず、1960年以降に生まれた世代ならば、共通して起きている現象である」といった趣旨の調査報告がなされていました。わが国の伝統的な食文化は、もはや一般家庭から消滅してしまつたとさえ感じました。一方、学校現場では、小学生に増えつつある生活習慣病などの原因である偏食や欠食をどう改善するかが重要視されてきています。そのためには「栄養教諭」を増やし、食育を強化すべきではないかという議論もあります。ここで問題になるのは、家庭での食の現状と学校での食の議論があまりにも乖離しているということです。これらは同じ食育の問題であります。果たしてこの距離を縮めることが可能なのでしょうか。皆さんはどう思いますか?

佐世保市長 光武 顕

歴史散歩 493

寺跡のお不動さん (針尾東町)

大村湾に突き出した針尾島の最南端は「明星の鼻」と呼ばれています。東向きの入江が崎針尾で、旧村名も崎針尾村でした。この浜辺にある羽田百喜さん宅は寺跡と言ひ伝えられ、地元の広瀬信夫さんの妻チズさん(79歳)によると、寺跡から移設した2基の緑泥片岩製五輪塔を「お不動さん」と呼んで自宅近くに祠を建て代々信仰してきたそうです。



市内には数多くの緑泥片岩で作られた五輪塔、宝篋印塔がありますが、完形なら1m以上もある堂々とした崎針尾のものは、市内で最大級です。素材である緑泥片岩は西彼杵半島に産しますが、厚みが50cm以上のものは数が少ないため、これだけ大型の完成品は、ごく限られているとみられます。良質の石材は初期のもので、時

代が下るにつれて良材が乏しくなり、小型化していったとみられます。針尾瀬戸の北、畦津にも見事な蓮弁彫刻が施された緑泥片岩製の台座石があります。僧侶の墓である無縫塔の台座のようです。

広瀬チズさんは、香華やお茶を供えてお参りをし、特にお盆の3日間は精進料理を三度三度供えてお参りします。「近所にはあちこちに石塔がありました」とチズさんが言われるとおり、五輪塔、宝篋印塔の残欠が1カ所に集めて供養されています。

明星の鼻からは、平安時代の経筒も出土するなど、古くから信仰の地でした。明星の鼻という呼び名も、真言宗の開祖、弘法大師空海が修行時代に虚空蔵菩薩求聞持法を修行中、明けの明星が口中に飛び込んだとの故事を連想させます。



(筒井隆義)